

# 特定非営利活動法人フォレストサイクル元樹 令和 3 年度総会議事録

1. 日 時 令和 3 年 7 月 11 日(日) 14 時～15 時
2. 場 所 間伐材工房 元樹
3. 出席者数 11 名(内委任状 7 名) 会員の 1/2 以上となり成立した。
4. 配布資料
  - ① 令和 3 年度総会次第
  - ② フォレストサイクル元樹「2020 年度決算&事業報告書」(案)
  - ③ 2021(令和 3 年)年度事業計画書 (案)
  - ④ 2021(令和 3 年)年度特定非営利活動に係る事業会計収支予算書(案)
5. 審議事項
  - 事案第 1 号 2020 年度事業報告及び収支決算報告(承認)
  - 事案第 2 号 2021(令和 3 年)年度事業計画及び収支予算 (承認)
  - 事案第 3 号 本年度の活動と事業について (協議・承認)
6. 議事経過の概要及び議決の結果

開会の言葉 理事 辻 博之

挨拶 理事長 蛇口昌俊

令和 3 年度総会となります。令和 2 年度は、期のスタート前からコロナ感染が国内全域で拡大し始め、感染拡大の渦が大きくなり収束の目処が全く立たないまま 1 年が終了しました。お付き合いのあるこども園関係の行事も含め、例年開催されていたイベント関係は全て中止になり、法人としてのほぼ法人としての単独活動のみでした。本日令和 3 年度総会で今後の事業展開を図りたいので、審議の程よろしく願います。

## 議長選出

定款に沿って、理事長である蛇口昌俊が議長を努める事を宣し、議長は理事会成立の要件を満たしていることを出席者に説明し会議成立を宣言した。

## 議事録署名人の選出

議長より、本日の議事の経過を議事録にまとめるに当たり、議事録署名人 2 名を選任したい旨を諮った結果、阿部誠さんと辻博之さんの 2 名が満場一致で選任された。書記の選出は、村上智彦さんが選出された。

## 審 議

事案第 1 号 令和 2 年度(2020 年度)事業報告及び収支決算報告(承認)

初めに議長より配布資料②の決算書の内容についての説明がなされた。様々な要因が起因して、法人として初めて大幅なプラスにて年度を終了。当期正味財産増減が約 300 万プラス、それに伴い次期繰越正味財産額もマイナス幅が大きく減少した。

プラスに至った複数の要因が議長より具体的に説明された。

同様に、配布資料②の事業報告の内容についての説明がなされた。年間を通して国内全域がコロナ渦の最中、岩手県内の10以上の幼保施設にて実施した「遊び体験デモ」は、その後に繋がる大きな成果を得られた事に加え、新しい林班にも関わらずホダ木生産量が大幅に増加した事。また、令和元年度から製作をスタートした「木のたまごコロロ」の普及が順調に進んでいる事の説明もなされた。

上記の質疑応答・審議後、令和2年度決算書及び事業報告書は満場一致にて承認された。

### 事案第2号 令和3年度(2021年度)事業計画及び収支予算(承認)

議長より、資料③につき説明があり、満場一致で承認された。

- ① 5年目を迎える、岩泉町での新たな森林整備事業(ホダ木生産)の進捗状況が報告された。
- ② 令和3年度の木製品普及活動について、現状の進捗状況の説明が詳細になされた。  
コロナの終息がまだ見えていない現状ではあるが、国内のワクチン摂取率も急速に拡大してきた現状もあり、環境を整えば昨年実施した「遊び体験デモ」を場所や内容含め吟味の上開催したい旨説明がなされた。併せて、本年度中に法人の安定収益に繋がる定番商品を目指した新商品、「木の缶詰」についての説明がなされた。  
継続的にネットワークを構築及び、法人として最も不得手な新鮮な情報の発信をしてゆくことの必要性を全員で共有した。
- ③ 29年度から検証中の、新たな木材の乾燥方法である「水中乾燥」について、効果の裏付けとなるデータの取得には至っていないが、貯木条件(期間・置き方等)や乾燥条件(期間・置き方他)を変えながら仕上げ理状態の変化を確認し、今後とも継続して検証してゆく旨の計画の説明がなされた。

上記について質疑応答・審議後、令和3年度事業計画及び収支予算は満場一致にて承認された。

### 事案第3号 本年度の活動と事業について(協議・承認)

議長より、特に新商品である「木の缶詰」の開発について、具体的な計画と進捗状況の説明がなされた。岩泉地域の新たな特産品レベルの商品を目指す事、単発ではなく継続的な安定収益商品を目指し全国に発信してゆく事、盛岡市内の高校生との(学校の全面協力)新商品開発も前面に押し出し、最終的に100樹種の“岩泉の森の恵み缶”として樹種別の木のたまごコロロの缶詰の商品化を図るべく活動予定であるとの説明がなされた。

併せて、「岩泉の森の100樹」とのタイトルにて、小冊子の制作も視野に入れており、岩手県立大学の植生学研究者の協力についても説明がなされた。

上記について、意見交換・質疑応答がなされ、審議後、満場一致で承認された。

### 閉会のことば 辻理事

令和3年度の事業活動についても、会員皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

令和3年7月11日

議長  
議事録署名人  
議事録署名人

阿部 誠  
辻 博之

